

弘前大学学報



文京町グラウンド

第 45 号
平成19年12月号

学内ニュース

- 平成19年「仕事納め」学長挨拶 ----- 1
- 国際交流会館で消防訓練実施 ----- 4

諸 会 議 ----- 5**人 事**

- 人事異動 ----- 7

主要日誌 ----- 8**学内規則** ----- 9

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
- 弘前大学大学院学則の一部改正
- 弘前大学名誉教授称号授与規程の一部改正
- 弘前大学大学院保健学研究科教授会規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学予算管理規程の一部改正

平成19年「仕事納め」学長挨拶

平成19年12月28日

弘前大学長 遠藤正彦



平成19年の国立大学法人の仕事納めに当たり、学長としてご挨拶を申し上げます。まず、学長として、この平成19年は様々な難問が山積しておりましたが、それでも無事に越えられますことは、教職員皆様の御協力の賜であると感謝致しております。この一年を反省し、その所感を申し述べます。

〔中期目標の期間終了前評価と年度評価〕

平成19年は国立大学法人化後4年目で、第1期中期目標の期間終了前評価が明（あけ）平成20年に実施されることになり、全学を挙げて準備にとりかか

っていたところであります。

しかし、平成18年度の年度評価の結果では、教員における評価とその評価を活用した制度作り、事務業務の見直しと組織再編との遅れとが指摘されており、このことが解決しなければならない喫緊の重要課題であります。現在、教員評価については、総務担当理事の下で評価室が平成19年度内に、第1回目の評価を終了させることで鋭意努力中であります。

一方、事務の業務見直しと組織再編については、平成18年度に実施された社団法人日本能率協会の実施した業務評価を基に、事務方を中心に進めているところであり、加えて、事務系職員の評価も進めているところであります。

〔総人件費抑制〕

我国の国家公務員の人件費抑制策により、総人件費を5年で5%削減することになりました。本学では、給与水準を変更しないこと、及び人員を削減しないことを基本にすえて、欠員補充や昇任の遅延等、他大学にはあまり例のない方策を全学的了解のもとに実施しました。

この方策によって、5年後に目標に到達することの見込みはまだ立ってはいません。しかし、各学部を構成する教職員の定員の少ない本学にとりましては、教員の昇任及び補充に問題を残していますが、次善の策と思います。これを補う意味で、退職教職員の再雇用制度が発足しました。

〔財政〕

国立大学法人化後の運営費交付金制度は、本学の財政を強く圧迫しています。本年、経済財政諮問会議では、新たな運営費交付金の算定方法として、各国立大学法人の文部科学省科学研究費補助金の獲得額を反映させる方式が検討されました。このことは、大規模大学と小規模大学、または中央の大学と地方の大学との格差が如実に反映されることになり、この算定方式により、本学は大幅な運営費交付金の減額を強いられることとなります。

このことに危機感を持った本学学長は、緊急声明を出し、この撤回を要求したところであります。この算定方式は、地方大学の危機としての全国的反対の声により、消滅したことは誠に幸いなことであります。

しかし、本学の文部科学省科学研究費補助金の申請と採択の状況が、きわめて悪いことは事実であり、研究担当理事の下で、その申請増加に向けて努力中であります。

〔施設整備〕

昨年末の平成18年度補正予算において、本学には破格の予算が交付されました。人文学部全面改修を始め10件に及び、今まで改修の進まなかった部分が一気に進み、改修率が73%に達しました。

但し、改修工事のため教室や研究室の移転を余儀なくされ、教育研究に支障をきたしていますが、一時のこととして御協力をお願い致します。

〔教育研究組織〕

本年4月1日より、教員の職名変更が行われ、助教授は准教授、助手は助教と助手に分かれ、新しい呼称となりました。

また、大学院医学系研究科保健学専攻に博士後期課程が発足しました。これによって、本学は各学部博士課程が直結した完成度の高い大学となりました。これに合わせて4月1日より、大学院医学研究科、保健学研究科、そして理工学研究科がそれぞれ部局化され、教員の所属と研究の拠点が大学院に移りました。

そして、今年は農学生命科学部では学科の改組が進められて、また同附属の金木農場が創立50周年を迎えました。また、教育学部附属小学校が今年で創立130年に当たり、記念式典が行われました。また、従前の留学生センターがこの4月1日より国際交流センターとして改組しました。

〔教育〕

いわゆる少子化による入学志願者減、入学者定員割れ、そして入学者の学力低下の懸念は、一層深刻さを増しております。本学としては、入学試験における入試科目及び配点等の全学統一、第2志望制度の20年度からの導入、遠隔地試験場の参入学部の増加等を図ってきました。

学生の就職の問題は、全国的には大学卒者の就職事情が好転したとは云え、依然として地方は求人難であり、地元就職については教員志望者を含め困難な状況が続いております。

学内の学生の諸問題の根源の幾つかは、高等学校の教育と深い関わりがあるとの認識から、本年、弘前大学教育有識者懇談会を発足させ、入試、学力低下等について学外者の意見を聴く体制を発足させました。

一方、国は教員免許証更新制度を21年度より発足させることとしました。これには様々な問題がありますので、本学ではいち早く弘前大学教育職員免許状更新講習実施準備委員会を発足させ検討を進めております。

今年は第7回総合文化祭が開催されました。特筆すべきことは、この文京町地区で市民も参加した駅伝競走が初めて実施されました。大変な盛り上がりで、この総合文化祭に弘前市民が約4,500名参加しました。

学生の課外活動もしだいに盛んになっております。本年度で特筆すべきことは、ラジオサークルが初参加ながら、第24回NHK全国大学放送コンクールで最高の荣誉である文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

〔研究〕

今年は機器分析センターに2台の質量分析計が入り、分析センターが一段と強化されました。また、独立行政法人日本原子力研究開発機構が開発した呼気中の低分子物質に対応した質量分析計・“ブレスマス”の第1号機を、本学が導入し新しい研究領域の開拓が始まりました。そして、大学院保健学研究科と医学研究科が被ばく医療の研究を開始しました。

出版会は今年で創立満3周年を迎え、今までに37冊の本が出版されました。その実績が認められ、大学出版部協会の正式会員として加盟が認められました。

〔産学連携〕

今年には地域共同研究センターが創立10周年を迎え、産学官金合同フェア“見てみて、聞いてみて、触ってみて 弘前大学”等の記念事業を行いました。また、文部科学省産学官連携促進事業の一般型“プロテオグリカン応用研究”の更新が認められています。

〔社会連携〕

今年、地方自治体や企業との包括協定が、5月に青森市、4月に青森銀行、6月にみちのく銀行、8月にサンスター株式会社との間で結ばれました。また、11月に八戸サテライトを今までのユートリーから市の中心部にある八戸商工会館一階に移転しました。

弘前地域の本学を含めた6高等教育機関が連携して、本年“学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム”が発足しました。これは大学間の連携と、大学と弘前市の連携により、弘前市の学園都市としての発展を目的としています。そして今年、第2回目のシニアサマーカレッジも開かれました。

〔附属病院〕

附属病院には、重要な問題が山積しております。それは、この1月から供用開始する新外来棟における診療体制、経営改善係数2%と診療単価の切り下げと7対1看護等による病院経営、研修医のマッチング不足、そして地域医療としての救命救急等の問題です。現在、コンサルタント会社による点検が行われております。

最後に、小中高生の理科離れを阻止し理科に関心を持ってもらうために、文京町キャンパスに本学教員の発明や工夫による作品を展示して、これを“サイエンスパーク”として開放しました。

そして、再来年、弘前大学は創立60周年を迎えますので、記念事業を行うために、学内に弘前大学創立60周年記念事業運営委員会、学外に弘前大学60周年記念事業後援会が発足しました。

弘前大学は、中期目標の評価事項と財務の点を除くと、おおむね順調に進んでいると思います。何よりも、校舎の改修が進んでいることが励みになります。

しかし、今年一年もあわただしかったと思います。来年も皆様の力を合わせて、第1期中期目標の期間終了前評価の報告書を、完成度高くまとめて、その結果、高い評価が得られますように、皆様のお力添えをお願いします。

本年1年間、御協力誠にありがとうございました。どうぞ皆様方、お揃いで佳い新年を迎えられますよう祈念致します。

国際交流会館で消防訓練実施 ～留学生が多数参加し防災意識の高揚を図る～

12月8日（土）10時から、市内桔梗野2丁目の国際交流会館において消防訓練が行われました。

この消防訓練は、国際交流会館に居住する外国人留学生及び外国人研究者を対象に、火災発生の際、通報、避難、消火等に迅速かつ的確に対応できるように基礎的訓練を実施し、防災意識の高揚を図ることを目的に行われたものです。

当日の訓練には、倉又国際交流センター長をはじめ、和田学務部長、留学生課職員、留学生ら約30人が参加し、1階ランドリー室から出火したという想定で、留学生が火災を発見し消防署（119番）へ通報しました。また、留学生は、誘導担当の留学生の誘導で無事会館前駐車場の指定された場所へ避難するなどスムーズに訓練が行われました。避難終了後には、実際に消火器を使用して留学生6人が消火訓練を行いました。

最後に、館長の倉又国際交流センター長から「本日の消防訓練ご苦労様でした。訓練は的確に行われたと思います。この訓練が無駄になることを願っていますが、万が一の場合は本日の訓練を活かして行動してください。」との講評がありました。

留学生らは、この訓練を通じ改めて防災への意識を高めたようでした。



出火場所の消火にあたる留学生



消火訓練



消火訓練



倉又館長（国際交流センター長）の講評

■ 諸 会 議

▼役員会

12月10日（月）

審議事項

- 1 平成19年度予算実施計画の変更について
- 2 平成19年度給与改定について

報告事項

- 1 平成19事業年度中間決算について
- 2 弘前大学教育有識者懇談会について
- 3 平成20年度弘前大学特別研究員募集状況について
- 4 平成20年度厚生労働科学研究費補助金の申請状況について
- 5 スーパー連携大学院準備委員会弘前大学選出委員について
- 6 仕事納め及び仕事始めについて

その他

12月17日（月）

審議事項

- 1 平成21年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
- 2 役員の総人件費5%削減への対応について

報告事項

- 1 国立大学協会第3回臨時総会について

12月25日（月）

審議事項

- 1 中期計画の変更の教育研究評議会への付議について
- 2 役員の総人件費5%削減への対応について
- 3 平成19年度予算実施計画の変更について
- 4 弘前大学予算管理規定の一部改正について
- 5 弘前大学職員給与規定の一部改正について
- 6 弘前大学課長等選考実施要領の制定について

報告事項

- 1 平成19年度内部監査の結果について
- 2 特定プロジェクト教育研究センターの新設及び延長の手續について
- 3 平成20年度予算内示について
- 4 「要望事項等調査票」の振分けについて
- 5 平成20年度科学研究費補助金申請状況について
- 6 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）について
- 7 事務組織の再編・見直しについて

▼教育研究評議会

12月11日（火）

審議事項

- 1 平成21年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
- 2 経営協議会の委員について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の休職
 - (2) 教員の採用・昇任
- 2 平成20年度大学入試センター試験志願者の本学への割当数について

-
- 3 弘前大学動物実験に関する規程の制定について
 - 4 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 入学試験委員会
 - (4) 教育職員免許状更新講習実施準備委員会
 - (5) 教育有識者懇談会
 - (6) 研究・産学連携委員会
 - (7) 附属図書館運営委員会
 - 5 その他

▼教育・学生委員会

12月26日(水)

議 題

- 1 平成20年度総合文化祭日程について
- 2 教育者総覧の改訂について
- 3 ボランティア活動の単位認定について
- 4 農学生命科学部学科再編に伴う学籍番号の割り振りについて
- 5 弘前大学授業料免除選考基準の一部改正について
- 6 弘前大学日本学生支援機構奨学生推薦選考基準の一部改正について
- 7 弘前大学日本学生支援機構奨学生推薦選考申合せの一部改正について
- 8 「公立学校等教員採用候補者」大学推薦候補者選考について
- 9 その他

報告事項

- 1 平成19年度FDシンポジウムについて
- 2 平成19年度「授業公開・検討会」について
- 3 弘前大学に関するアンケートについて
- 4 平成19年度「学生ボランティア活動支援・促進の集い」について
- 5 平成19年度後期授業料免除結果について
- 6 その他

▼21世紀教育センター運営委員会

12月20日(木)

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 科目主任会報告
- 4 その他の報告

審議事項

- 1 21世紀教育授業運営・担当評価実施要項の一部改正について
- 2 21世紀教育授業運営・担当評価「カリキュラム開発の推進に係る評価」申請要領の一部改正について
- 3 平成19年度21世紀教育授業運営・担当評価について
- 4 放送大学との単位互換に係る読替表について
- 5 その他

人 事 異 動

[採用]

発令 年月日		氏 名	異 動 内 容
19. 12. 1		山 田 順 子	助教 (医・脳血) [21. 3. 31まで]
19. 12. 12		壇 上 和 真	助教 (医) [21. 3. 3まで]

[昇任]

発令 年月日		氏 名	異 動 内 容
19. 12. 1	講師 (人文)	飯 孝 行	准教授 (人文)

[離職]

発令 年月日		氏 名	異 動 内 容
19. 12. 20	看護師 (病院)	野 呂 政 子	辞職
19. 12. 29	教諭 (附中)	坂 本 紀 子	退職 [19. 12. 28限り任期満了]
19. 12. 31	看護師 (病院)	成 田 チェミ	辞職
19. 12. 31	係長 (学務・教務)	小 田 桐 俊 治	辞職
19. 12. 31	係長 (教育・総務)	盛 純 子	辞職
19. 12. 31	主任 (農生・総務)	成 田 陽 子	辞職
20. 1. 1	一般職員 (農生)	西 谷 麻 香	退職 [19. 12. 31限り任期満了]

[育児休業]

発令 年月日		氏 名	異 動 内 容
19. 12. 11	教諭 (附中)	戸 澤 裕 香 子	20. 12. 31まで

[復職]

発令 年月日		氏 名	異 動 内 容
19. 12. 29	教諭 (附中)	成 田 雅 子	育児休業から

[任用更新]

発令 年月日		氏 名	異 動 内 容
19. 12. 11	教諭 (附中)	乗 田 一 洋	20. 12. 31まで

■ 主要日誌

- 12月3日 全学教員養成担当実施委員会
4日 大学見学会（木造高校）
7日 学長オフィスアワー
10日 役員会
11日 運営会議
大学見学会（秋田県立十和田高校）
教育研究評議会
学士課程教育協議会
12日 公開授業検討会
13日 若手教員懇談会
18日 経営協議会
学長懇話会
20日 学長オフィスアワー
21日 若手事務職員懇談会
25日 入学試験委員会
DNC管理・運営担当者会議
教育職員免許状更新講習実施準備委員会
役員会
26日 教育・学生委員会
平成19年度弘前大学退職準備説明会

■ 学内規則

(平成19年12月21日改正)

学校教育法及び学校教育法施行規則の一部改正(平成19年12月26日施行)により、本学規則等で同法等を引用している条番号が変更になるため、以下の規則等の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則
- 弘前大学大学院学則
- 弘前大学名誉教授称号授与規程
- 弘前大学大学院保健学研究科教授会規程

(平成19年12月25日改正)

- 国立大学法人弘前大学予算管理規程

本部に係る経費をより一層明確にするとともに、大学院の部局化に伴う組織変更に対応するため。

弘前大学学報第45号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111